

明るく元気の出る町

広報

平成7年8月1日発行・毎月1日 編集・発行 / 秋田県東由利町役場企画課

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1995

08

NO. 485



町イメージキャラクター
「モウ太くん」

夏本番、水遊びに大歓声の子供たち
(7月19日、みどり保育園)

本荘保健所が アンケート で本町を地区診断

昭和四十九年に結成された本町愛育会は、今年で二十二年目を迎え、県内では神岡町に次いで積み重ねた歴史をもっています。

本荘保健所では、この愛育会活動に着目し、「愛育会が本町の保健衛生活動にどのような影響を与えていたか、活動の内容はこのままでよいのか」などをアンケートした「地区診断」の報告書をまとめました。

このアンケートは、町内全世帯と現愛育班員百三十八名、元愛育班員百三十七名を対象に昨年十月に行われたもので、愛育班の役割や活動内容などに大きな示唆を与えています。

町内全世帯からは九百六十二件、愛育班員からは二百五十五件の回答が寄せられたアンケートをもとに班員の活動内容を通して「本町の愛育会」を考えてみましょう。

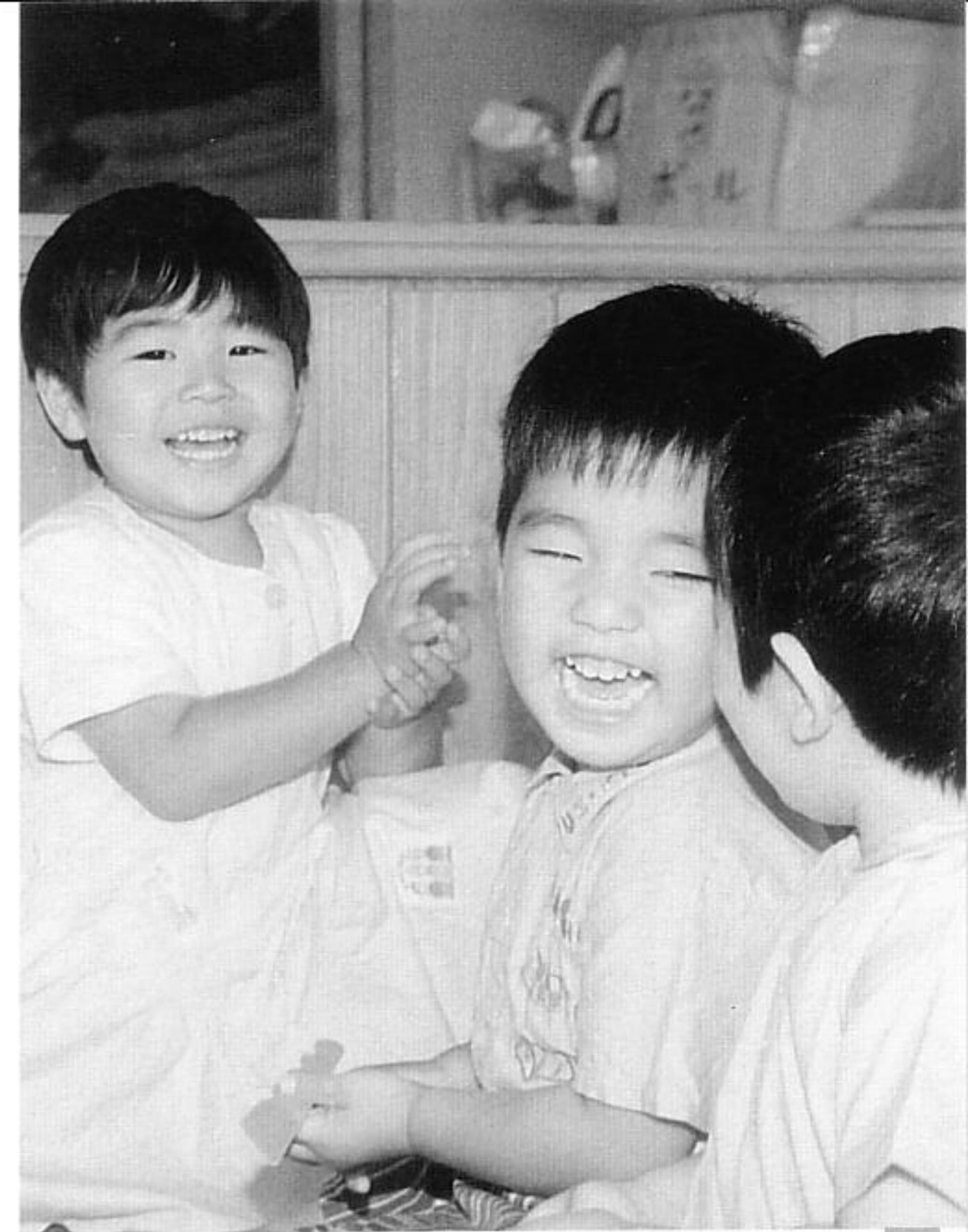
一般住民

「愛育班」は
知っている
「健康づくり」
に謝意

町内全世帯を対象にしたアンケートに回答してくれた方は、四十代から六十代が全体の七割を占め、性別では女性が多く、「主婦」の方々から多く寄せられました。

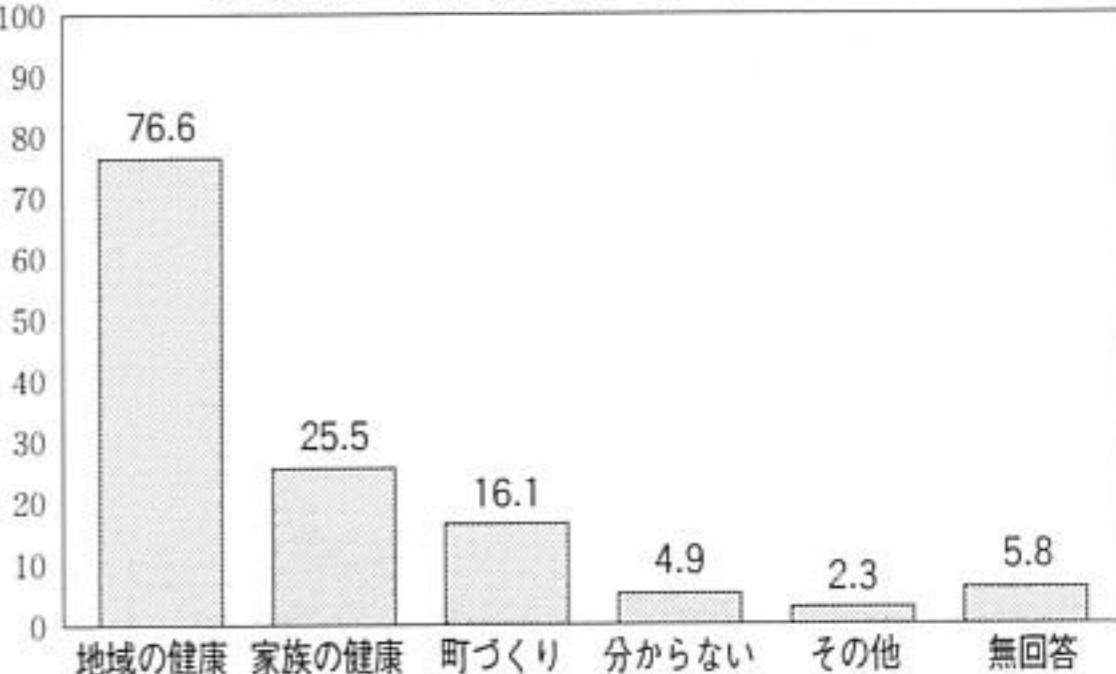
「愛育会の組織を知っているか」の問には九一・九%の人人が「知っている」と答え、「活動内容を知っているか」

愛子供たちを育てる ことから始まつた班問題点を考える

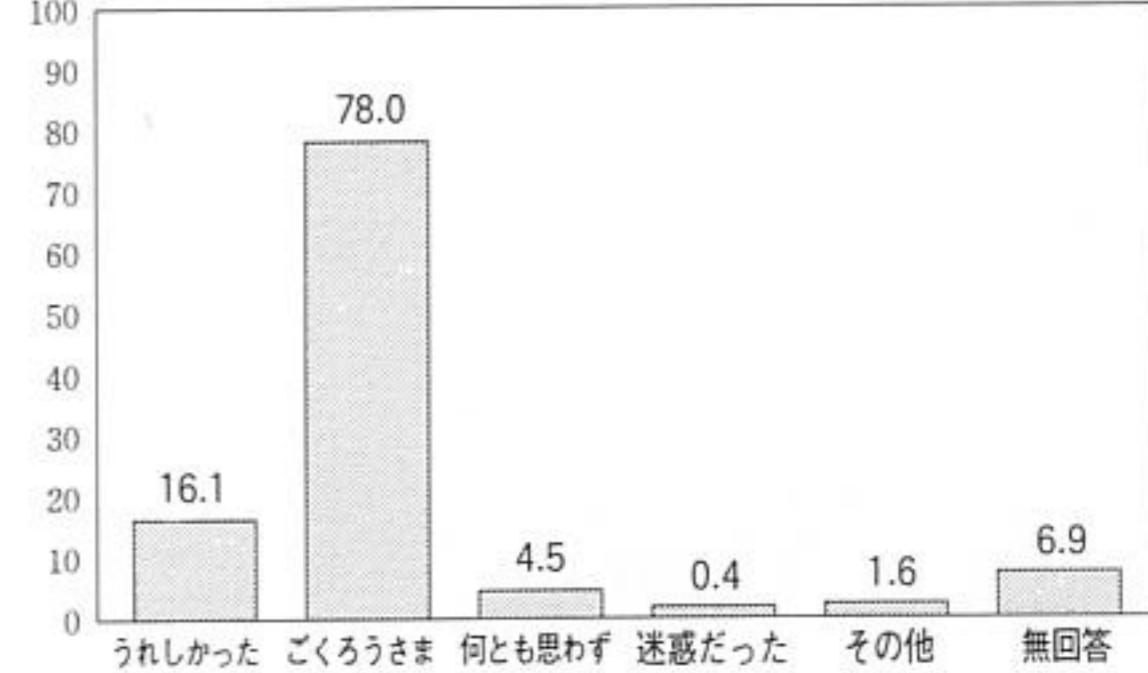


▲大切にしたい子供たちの笑顔

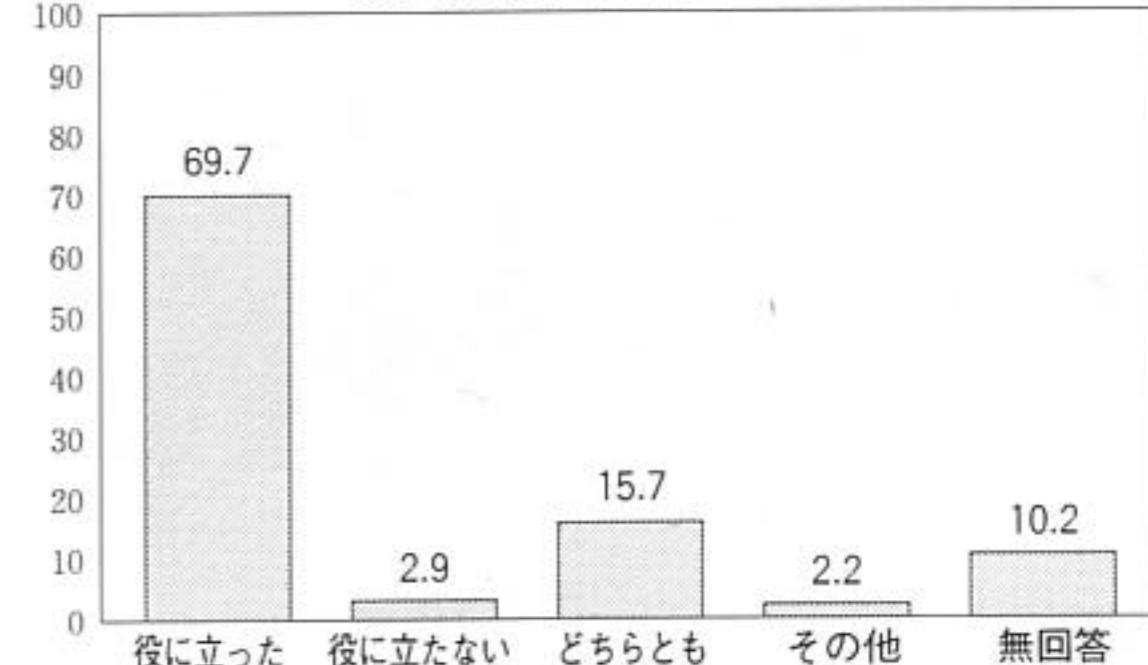
(単位:%) 愛育班の活動内容を知っているか



(単位:%) 訪問を受けた感想は



(単位:%) 訪問は役に立ちましたか



愛育班は絶対必要！

▼保健婦も町民一人一人にまでは目が届かないし、自治会内にいる身近な愛育班員の目配りや声かけがとても助かる。班員も輪番制で協力的なので今後も続けるべき。▼愛育班活動があつてこそ健康相談もできるし悩み事も解消する。今後も続けるべき。▼ふだん忘れていることを再認識できる。健康診断も怠りがちながら愛育班活動のおかげで申し込みができ大変良い。▼私たちに身近に接してくれる愛育の手は必要。▼いろいろな知識が得られ、大変勉強になる。▼お互いやれることはやつていきたい。年老いたときに世話をしならなければならぬので。▼活動の有無よりも愛育班を理解することが大切。そしてもっと協力すべき。

愛育班はいらない！？

▼日中、平日の活動は負担。情報や知識をたくさん得られるので訪問ケアは必要ない。▼愛育班経験者のほとんどが迷惑と思っているようだし、本当に健康のためと思って活動している人が何人いることか。▼私が愛育班で活動したとき、ありがた迷惑なことを言われた。必要と思っている人がどれくらいいるのか疑問。▼ボランティアとは名ばかりで反強制のこの会は必要ない。▼単に物を配るだけの活動は必要ない。それに愛育班より医者に相談する人が多いのでは。▼愛育班員が訪問するより保健婦が訪問した方が良い。保健婦にだつたらいろいろ相談する人が多いのでは。

アンケートに寄せられた意見（上記掲載）では、「活動することによって健康に対する意識が高まるし、何よりも勉強になる。地域の方々のために絶対必要」とした意見や「自分の健康管理は自分でできるし体調が悪くなればすぐ医者に相談することができる。配り物だけの愛育班はいらない」などさまざまな意見が寄せられました。

愛育班員

必要性は認めるが活動内容の検討を

現愛育班員と元愛育班員へのアンケートでは現班員が百

三十二人（九五・七%）、元班員が百二十三人（八九・一%）が回答しています。

活動しての感想は、「ためになつた」と答えた人が現班員で二八・一%、元班員では

現班員で二七・五%、元班員で二三・六%となっている

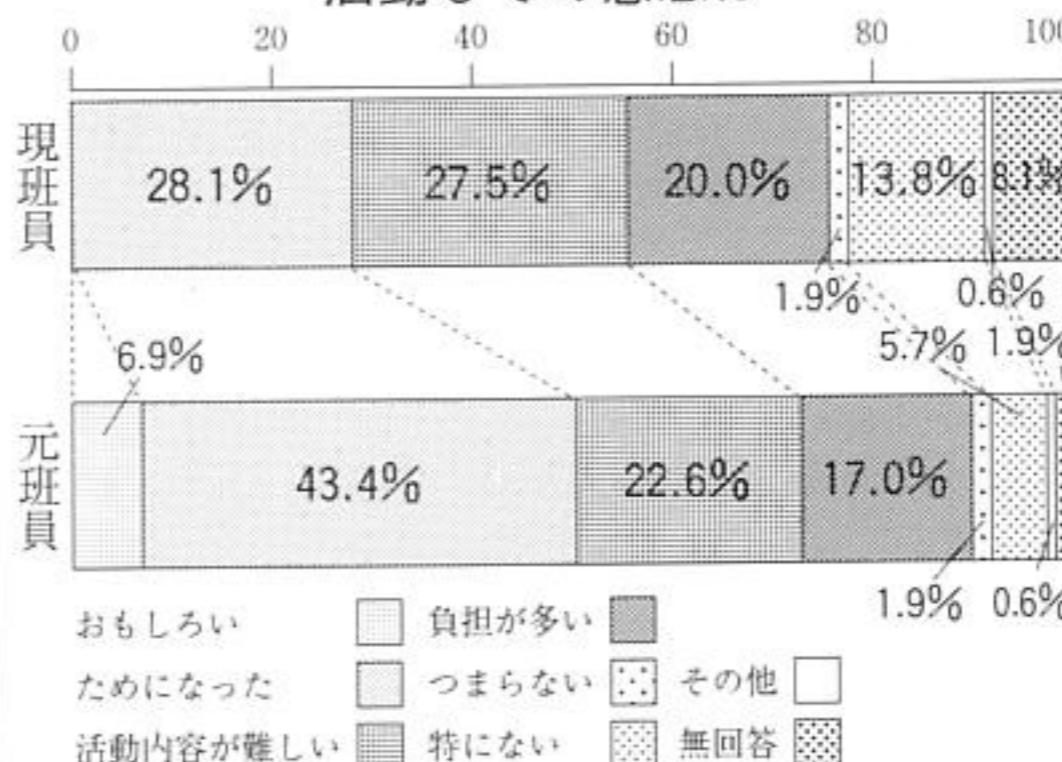
「おもしろい」と答えた人がだれもいない結果になつています。ために

なることが多い反面、活動の難しさを訴える班員が多いことがわかります。活動の問題点としては、「記録や訪問が大変」

などで現班員、元班員とも全

	一般住民	現班員	元班員	回答者の年代 (単位:人)	
20代以下	10	0	1		
30代	93	18	16		
40代	212	34	25		
50代	220	35	34		
60代	265	35	35		
70代	83	3	6		
80代以上	16	0	0		
無回答	63	7	6		
合計	962	132	123		

活動しての感想は

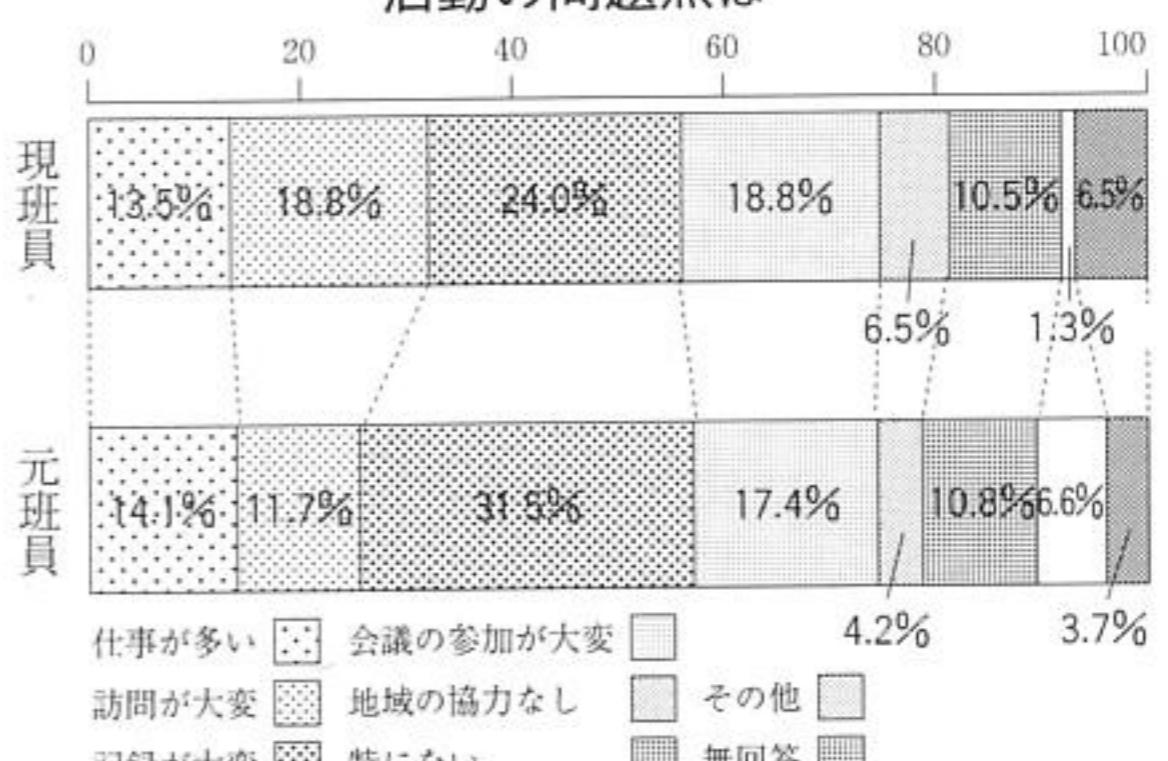


「おもしろい」と答えた人がだれもいない結果になつています。ために

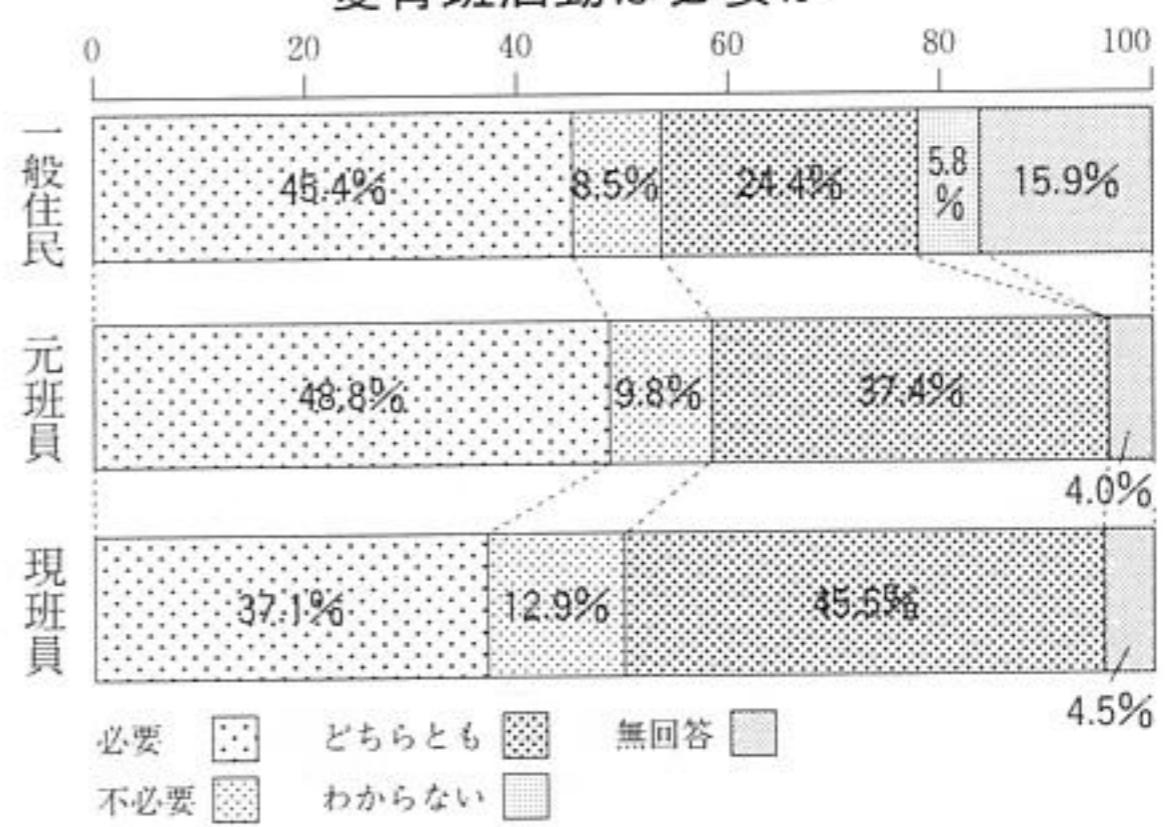
なることが多い反面、活動の難しさを訴える班員が多いことがわかります。活動の問題点としては、「記録や訪問が大変」

などで現班員、元班員とも全

活動の問題点は



愛育班活動は必要か



町長

町長 阿部 幸悦

日記

本町愛育会は、平成五年に創立二十周年記念式典を行うなど県内でも有数の歴史と伝統をもつ会であります。

設立当初は母子保健が活動の中心であったと聞いておりますが、現在では保健活動全般にわたっての活動が行われています。成人病の検診や健診相談の呼びかけ、食生活の改善や各種健康教室のPRなどが活動の中心で、地区の方々との触れ合いを通して明るく健康な地域づくりに頑張っています。

愛育班に大きな期待

います。特に各種の検診への呼びかけが浸透したことから検診受診率が高位で推移し、病院での受診が早期発見、早期治療につながっています。結果として今問題になっている医療費の大幅な伸びにブレーキがかかる形になっています。

しかしこの愛育班活動も一十年が経過しているわけですから、いろいろな意味で制度疲労が出てまいります。

この度、いつもご指導を戴いている本荘保健所では、わ

が町の愛育班活動に注目しながら、今後の保健衛生活動の資料にもすべくアンケート調査を、昨年度町内全家庭を対象に行っていただきました。これが今、「地区診断」という形の報告書としてできあがつてきたのです。そしてこれを十月に開催される日本公衆衛生学会の総会で「東由利町の事例」として発表されるとことになります。健康はすべての人の願いであり、また財産でもあります。わが町愛育会の保健活動の一環が広く全国の関係者に報告され、これからまた、私たちにご指導

が得られれば所期の目的達成の為にうれしい限りであります。

今、行政改革の一環としていろいろな保健事務や措置権限が市町村に移つて来ております。結果として市町村の判断によつてサービスのばらつきが出てくるだろうと心配されていますが、東由利町では愛育班の存在が大きな影響力をもつものになるだろうと期待をされてゐるところであり、そう願うものです。制度疲労を整理してより良い保健活動につながりよう頑張ってほしいのです。

『愛育班は 保健施策の強力な味方』

平成九年度から三歳児健診などの事務が保健所から市町村に移るなど、市町村の判断で保健衛生の仕事が行われるケースが多くなり、市町村によつてサービスの内容にばらつきが出ることが予想されます。

県では、今後の保健所の役割や市町村のサービスを広域的に調査、研究する担当として、平成六年四月から保健所に企画担当を設置。今回の地区診断はこの一環として行われました。



▲本荘保健所企画担当の面々。写真中央が河西主査

8市町村に愛育班 組織の充実強化へ

一方、全県的に見た愛育班は、平成六年十二月現在で八市町村、二十六単位組織で活動が行われており、班員九百四十人、一万一千六百五十八世帯が加入しています。県では、母子の健康を中心に、身近な健康問題を自分たちで解

ないほんどの市町村では、結核予防婦人会とか食生活改善推進協議会などの団体が組織されており、愛育会ほど綿密な活動ができないまでも「地域の健康を考える組織」は構成されている。設立目的はさまざまだが、頑張つている市町村が多い」と話しています。

今まで以上の十分な情報交換が必要。保健所を有効に利田し、町の保健衛生業務に役立ててほしい」と密接な連携を訴えています。

決して行く自主的組織の育成強化を進めており、保健所が中心となり新規愛育班の育成、組織の拡大を図っています。

投票率は72・46%

第十七回参議院議員通常選挙は七月二十三日、投票が行われ、同日開票の結果、秋田県選出議員選挙では、自民党公認の新人金田勝年氏が初当選を果たしました。

嵐光雄氏六票という結果になりました。

また、比例代表選出議員選挙（届出二十三政党）では、

自民党千三百二票、続いて社会党六百五十五票、新進党五百二十八票、共産党九十九票などの結果になっています。

本町の投票結果は、金田勝年氏一千五百三十九票、社会党公認の前職細谷昭雄氏九百六十一票、新進党公認の新人鈴木洋一氏四百五十五票、共産党公認の新人小林泰夫氏八十五票、世界淨靈会の新人五十

票率は、前回（平成四年）七二・四六%。これは、



▲投票率が高かった参院選（写真・第1投票区）

本町の投票区分別投票結果（県選挙区分）

投票区	有権者数	投票者数	棄権者数	投票率
第1（黒淵）	334人	236人	98人	70.66%
第2（田代）	318人	220人	98人	69.18%
第3（袖山）	160人	126人	34人	78.75%
第4（韶合）	896人	634人	262人	70.76%
第5（松柴）	66人	51人	15人	77.27%
第6（老方）	866人	621人	245人	71.71%
第7（祝沢）	42人	36人	6人	85.71%
第8（高村）	22人	18人	4人	81.82%
第9（法内）	325人	251人	74人	77.23%
第10（黒沢）	602人	443人	159人	73.59%
第11（黒沢）	72人	57人	15人	79.17%
第12（大琴）	563人	404人	159人	71.76%
第13（杉森）	77人	50人	27人	64.94%
合計	4,343人	3,147人	1,196人	72.46%

このことについて町選挙管理委員会では「全県の投票率（五六・九八%）が低くなっている中、前回を上回る投票率はうれしい結果。今後も選挙の関心が高まるよう努めていきたい」と話しています。

町長選挙は八月一日告示、六日投票となっています。お問い合わせは町選挙管理委員会（六九一一一〇）まで。

佐々木県知事が来町 地域の課題を話し合う



▲県の主要事業などを説明する佐々木喜久治県知事

春の県知事選挙で連続五期目の当選を果たした佐々木喜久治知事が五月二十八日、本町を訪ね、町、議会など関係者約八十人と懇談しました。

懇談会では最初に阿部幸悦町長が町活性化拠点施設の概要を報告した後①道の駅老方の施設充実②国道107号久保・板戸間の早期整備③県道仁賀保矢島館合線の継続整備④岩館バイパスの早期着工⑤県道横手東由利線の早期整備⑥宿地区河川公園の早期完成を要望。これに対して佐々木

知事は要望のあった事項について「前向きに検討する」としたうえで「県では、新総合発展計画の後期計画を策定中であり、県民一人ひとりが豊かさを実感できる環境整備を基本に進めている。また、東由利町などの中山間地を重点に農業の国際化への対応、急激な円高への対応、景気対策など万全の態勢で事業実施を図っている。道の駅を中心とした施設が町の活性化につながるよう期待したい」と県の主要事業の説明と本町への期待の大きさを強調しました。

中ノ沢地区農道整備工事請負契約に同意 第五回町議会臨時会が七月七日に招集され、団体営農道整備事業中ノ沢地区工事請負契約の締結に同意する案件が満場一致で可決されました。契約金額は五千十六万一千円で、工事業者は株式会社佐藤組。

子沢地区は、平成五年度から工事が行われており、今年度改良工事が完成、来年度舗装工事が行われる予定です。また、これに接続する稻子沢地区は、平成五年度から工事が行われており、今年度改良工事が完成、来年度舗装工事が行われる予定です。



▲農業委員が全員出席して行われた懇談会

町と農委 が懇談会

『中核を育て、 全体の農業振興を』

町農業委員会（鈴木和夫会長）が町農業の生き残りをかけた農業振興を町と議論しようと六月二十八日、農政懇談会を行いました。

懇談会は、農業委員全員と町長、町産業課長、同課長補佐が出席して行われました。

最初に、町産業課長が六月補正後で三億四千四百万円と

なった農業関係予算について概要を説明、特に認定農業者関係では、「三月に五十六人の農業者を認定したが、将来的には百十人を目指していきたい。地域の中核となる農家と位置づけていきたい」と説明しました。また、阿部幸悦

町長は「激動の農業を立て直す」という農業委員会の意欲

の表れに敬意を表する。今は、建前論で農業をやれる時代ではない。国、県の支援を受けながらわが町の農業振興を図っていきたい」とあいさつしました。

引き続き意見交換が行われ、農業委員からは①農業振興の基本方針は②認定農業者以外の農家をどう指導するか③農地の集積をどのように進めるかなどの意見が出されました。これに対して町では①今後の農業は、専業化、共同化、

るまで三回目の優勝、規律訓練の部で四分団一部が二年ぶり九回目の優勝を飾りました。総合では、三分団が一位の四分団に○・七五ポイントの僅差で初優勝を飾りました。



▲規律訓練の部で優勝した4分団1部

開会式では、石渡力造町消防団長が「自らの地域は自らで守る」消防精神で、日々の訓練の成果を十分に發揮してほしい。この大会を通して、防火に対する心構えが、町民各位に広がることを期待する」と訓示しました。

町民グラウンドで行われた規律訓練には八小隊が出場、指揮者の「まわれ右」、「前進め」などの号令のもと、団員が一体になって真剣に取り組んでいました。また、中学校グラウンドでは、自動車ポンプ操作法、小型ポンプ操作法が行われ、あいにくの雨模様の天気の中二十班が出場。「操作始め」の指令から標的が倒れ

審査員の採点の結果、自動車ポンプ操作法の部で五分団一部一班（鈴木誠司班長）が十一年連続優勝を達成、小型ポンプ操作法で二分団二部二班（小松俊一班長）が四年ぶり



▲雨の中で行われたポンプ操作法

本番さ

ながら

三分団

①四分団一部②四分団一部③

三分団

①五分団一部一班②四分団一部一班③二分団一部一班

①二分団一部二班②五分団一部一班③五分団一部一班

①三分団②四分団③五分団

①二分団②四分団③五分団

①二分団②四分団③五分

今年の新成人は73人

(敬称略)

高橋 和則	渡辺 希	小松 尚子	小野 美幸	畠山 由紀子	《大吹川》
菊地 晃	《松柴》	畠山 妙子	《上里》	《須郷》	《高戸屋》
出原 和恵	《中通》	佐藤 佳彦	《横渡》	武田 明輝	《地下ノ沢》
《館西》	《新沢》	佐藤 由美子	《下通》	佐藤 由美子	《下小屋》
小松 玲子	《山崎》	小野 礼子	《時雨山》	鈴木 美保子	長谷山奈緒
菊地 亜希子	《館合新田》	横山奈津子	《石高》	八嶋 康則	《黒渕》
古川 雅彦	《下通》	小松 智恵子	《久保》	高沢 敦	《蓮沢》
佐藤 佳彦	《横渡》	小松 嘉和	《新町》	畠山 圭亮	《袖山》
小野 美幸	《中通》	長谷山 千穂	《新町》	池部 純恵	《蓮沢》
《上里》	《新沢》	志村 宗篤	《山崎》	阿部 郁英	《宇戸坂》
佐藤 勝俊	《松柴》	高橋 和人	《黒渕》	阿部 正輝	《大吹川》
小野寺 愛子	《館西》	高橋 優子	《袖山》	伊東 秀樹	《地下ノ沢》
《横小路》	《新町》	千葉 やよい	《山崎》	伊東 春枝	《黒渕》
小野寺 愛子	《横小路》	畠山 尚子	《新町》	加藤 寿	《蓮沢》
《横小路》	《新町》	高橋 和人	《山崎》	伊東 春枝	《黒渕》
小野寺 愛子	《横小路》	高橋 優子	《新町》	阿部 淳子	《蓮沢》
《横小路》	《新町》	千葉 やよい	《新町》	工藤江美子	《大吹川》
小野寺 愛子	《横小路》	畠山 尚子	《新町》	阿部 淳子	《大吹川》

成人式は15日に有鄰館で

遠藤 加枝	《藏新田》	遠藤 好子	《小倉》	遠藤 好子	阿部 秋也
伊東 賢悟	《島》	伊東 賢幸	《舟木》	佐々木千幸	鈴木 陽子
伊東 優幸	《宮ノ前》	伊東 優幸	《奥ヶ沢》	近江 栄博	《沼》
遠藤 英樹	大日向 恵	遠藤 淳子	浅田 大樹	阿部 秋也	鈴木 陽子
遠藤 栄美子	《黒沢》	遠藤 香	大庭 拓矢	佐々木千幸	《沼》
遠藤 淳子	小松 真	《下吹》	畠山 清和	伊東 賢幸	佐々木千幸
遠藤 香	《野田》	《宿》	（注）名簿	伊東 賢幸	伊東 賢幸
伊東 格	《高村》	は東由利中	学校卒業者	伊東 賢幸	伊東 賢幸
鈴木美和子	遠藤 卓也	と転入され	た方。	伊東 賢幸	伊東 賢幸
阿部 浩樹	《十二ノ前》	《大琴》	《大台》	伊東 賢幸	伊東 賢幸
阿部 瞳子	《十二ノ前》	《大琴》	《大台》	伊東 賢幸	伊東 賢幸

はい！
役場です

360度 フォトコン 入賞者を表彰

作品は公共施設に展示



▲有鄰館で行われた表彰式

授賞式では最初に、阿部幸悦町長が「初めての試みとして行われたこのコンテストには県内各地から応募があり、感謝している。今後も継続して行ければと考えており、一層の

この森をはじめ自然のきれいな町で、年に五、六回は写真撮影に来ている。今回の入賞を機会に、またコンテストがあれば挑戦したい」と受賞の喜びを話しています。

東由利まる
ごと三六〇度
フォトコンテ
ストの授賞式
が七月十八日、
有鄰館で行わ

同コンテストは、合併四十周年記念事業の一環として行われ、六月十五日の審査会で一枚写真の部、組写真の部の入賞者が決定されたもので

「支援をお願いしたい」とあります。引き続き、表彰を行い、一枚写真の部最優秀賞の加賀谷良助さん（横手市）さんに賞状と賞金が贈られました。

郡畜産共進会 今年は総合3位

料理コンテスト

自慢の料理が勢ぞろい

黄桜賞に だまこ餅 (町連合婦人会
館合支部製作)



株式会社

黄桜の里

お食事処 やしお

三点の応募がありました。
審査会では最初に株式会社
黄桜の里代表取締役である阿
部幸悦町長が「地域の方々か
ら自慢料理を提供していただき、
町づくりに参加してもら
る」とあります。引き続き、阿部
町長ら六人が一つ一つ試食し

第一回家庭料理コンテスト
(主催・町、株式会社黄桜の
里)が七月九日、有鄰館で行
われました。

同コンテストは、十一月に
オーブンするお食事処「やし
お」のメニューに家庭料理か
らヒントを得、地域性をアピー
ルしようと行われたもので、
町連合婦人会やJA東由利婦
人部の団体や七個人から四十
人部の団体や七個人から四十



▲1つ1つ試食しながら審査

町議会が温泉施設を視察

『全体的に立派』と好印象

町議会が七月七日、「湯樂
里」と「やしお」の建設現場
を視察、現場の工事業者や町
企画課の担当職員の説明を受
けました。

議員からの要望で実施した
視察だけにほとんどの議員が
出席。施設内に初めて入った
ということもあり、興味深そ
うに見ながら、説明に聞き入っ
ていました。特に「湯樂里」



▲笑顔で視察する町議会議員

の正面玄関から入ったホール
は、天井が吹き抜けになつて
おりデラックスな印象に評判
も上々。二階の部屋
からは八塩山がはつ
きりと見え、天気の
よい日には鳥海山も
きれいに見ることが
できるとの説明に満
足そうにうなづく議
員も見られました。

利用受付を開始

株式会社黄桜の里では、黃
櫻温泉「湯樂里」の宴会や食
事の受付を八月一日から開始
します。予約できるのはオ
ンラインを予定している十一月九
日以降の分で、時間は、午前
十一時から午後九時まで。受
付開始から一週間はキャンペ
ン期間としてプレゼントの贈
呈も検討されています。

申し込み、お問い合わせは
株式会社黄桜の里 (☎ 691
2611)まで。

下通チームが優勝

町ゲートボール大会



▲熱戦が繰り広げられたゲートボール大会

第二回町スポーツ祭の最初の種目、ゲートボール大会が六月二十五日、町民グラウンドで行われ、下通Cチームが優勝を飾りました。

当団は競技に先立つて、前年度スポーツ祭の表彰が行われ、総合優勝の蔵自治会にトロフィーが贈られたほか、六位まで入賞した自治会が表彰されました。



▲喜びの大沼社長

株式会社大沼組（大沼武且

ゲートボールには二十八自治会から五十チームが参加。三チームの予選リーグを行つた後、予選一位チームによるトーナメント戦で熱戦が繰り広げられました。二、三位のチームは次のとおりです。

二位＝袖山A、三位＝新町A

県林業協会の表彰は、県内の林道工事の中から、優秀賞優良賞などを選ぶもので、優秀賞には県内で同社のほか三事業所が選ばれています。一方、労働基準局の表彰は、七月一日～七日までの全国安全週間にちなんで行われるもので年間の無事故無災害などの事業所に贈られるものです。

大沼社長は「現場の若い職員が一生懸命頑張った成果。社員がお互いに競争しているのがよい結果につながった」と話しています。

(株)大沼組 林道で優秀賞

都市卓球選手権

希咲子さん(高瀬小) 5年が3位に



▲遠藤希咲子さん

第二十五回本荘市由利郡卓球選手権大会が七月九日、金浦市民体育館で行われ、遠藤希咲子さん(高瀬小五年)がホープスAで三位に入賞しました。

同大会はホープスA(四年生)とホープスB(六年生)の二つに分かれて行われたもので、本町からは高瀬小長から進歩賞を受賞しました。

希咲子さんは、二回戦から出場。準々決勝までの四試合を二一〇のストレートで勝ち進み、準決勝では笹子小の花島選手と対戦。息詰まる熱戦を展開したものの〇一二で惜敗しました。

三位に入賞した希咲子さんは「生まれて初めての試合で三位に入れてとてもうれしい。十月の郡市大会でも精一杯頑張る」と話しています。



▲河川愛護協会総会。魚の放流などの新規事業をとり入れた
(7月3日)



▲農業者年金説明会。昭和9年～13年生まれの45人が出席
(6月29日)



平成商人塾スタート

町商工会



▲約20人が出席した開塾式

会（大沼武且会長）の「東由利平成商人塾」開塾式が七月二十一日に行われ、塾式が七

月を含む関係者約二十人が出席しました。

若手経営者の育成と町内小売店の活性化を図ろうと行われる商人塾は、年間十回のカリキュラムが組まれ、上越市パワーセンター視察をはじめ、愛される店づくり、生き残れる商店経営などの勉強会が予定されています。

開塾式に引き続き、(株)太田流通研究所代表取締役の太田和廣氏が「二十一世紀を目指した新商業集積づくり」と題して講演。大規模店の現状や東由利町でのショッピングセンターの方向性などの説明に、塾生は真剣に聞き入っていました。

県警音楽隊が生演奏 創立25周年のことぶき大学

向田農村公園で3集落

東光苑 永慶保育園 夏まつり



▲県警音楽隊の見事な演奏

学が七月十一日に行われ、創立二十五周年の記念行事として県警音楽隊が来町、大学生ら約百人が鑑賞しました。当日は、午前中に畠作、園芸などのコース別研修を行い、午後からは健康増進センターへ。本荘警察署交通課の佐伯巡視員を講師にゲームを取り入れた交通安全教室が行われました。引き続き、県警音楽隊がコンサートマーチ秋田、日本民謡メドレーのほか、青い山脈、国境の町などの懐かれる商店の活性化を図ろうと行われる商人塾は、年間十回のカリキュラムが組まれ、上越市パワーセンター視察をはじめ、愛される店づくり、生き残れる商店経営などの勉強会が予定されています。

開塾式に引き続き、(株)太田流通研究所代表取締役の太田和廣氏が「二十一世紀を目指した新商業集積づくり」と題して講演。大規模店の現状や東由利町でのショッピングセンターの方向性などの説明に、塾生は真剣に聞き入っていました。

向田、智者鶴、泡ノ瀬の三集落では、昨年十一月に完成した向田農村公園を利用してゲートボール教室を行いました。同公園は、町が平成六年度に農村総合整備モデル事業で整備したもので、二千三百四十平方メートルの敷地内には、あずま屋、広場、トイレ、滑り台などのほか、バスケットトリングが整備されています。これまで、子供たちがバスケットボールをして遊ぶ姿がほとんどでしたが、住吉分館のゲートボール大会に出場しようと

まつりは、保育園児と苑入居者によるまんまる音頭、アンパンマン音頭の踊りが行われた後、保育園の三歳児、四歳児、五歳児がどうぶつ体操、地球太鼓などを披露。子供たちの晴れ姿をカメラやビデオに収めようとする家族連れが多く見られました。

花火の後は、バラエティー番組などでおなじみの大潟八郎さんのトークショー。軽妙な語り口に会場からは大きな拍手が送られていました。

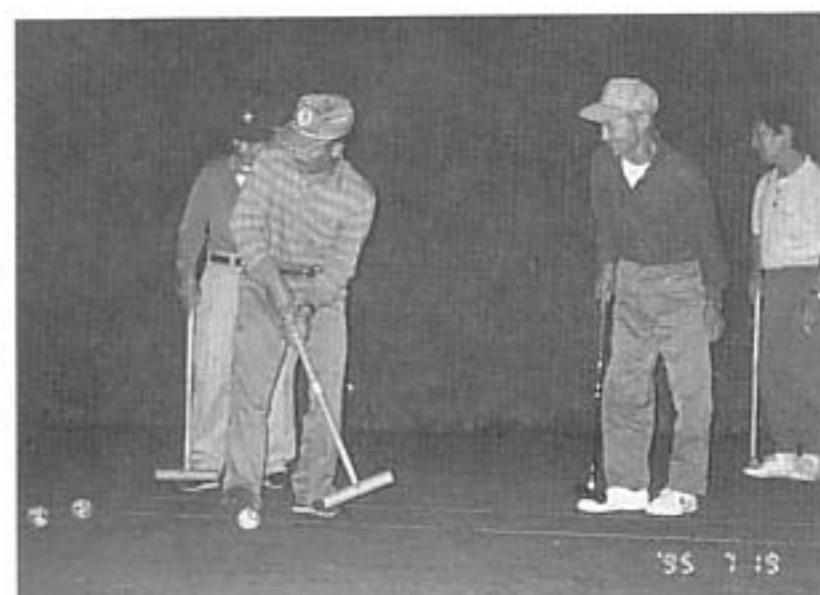


▲みんなで踊ったまんまる音頭

千二百人でにぎわう

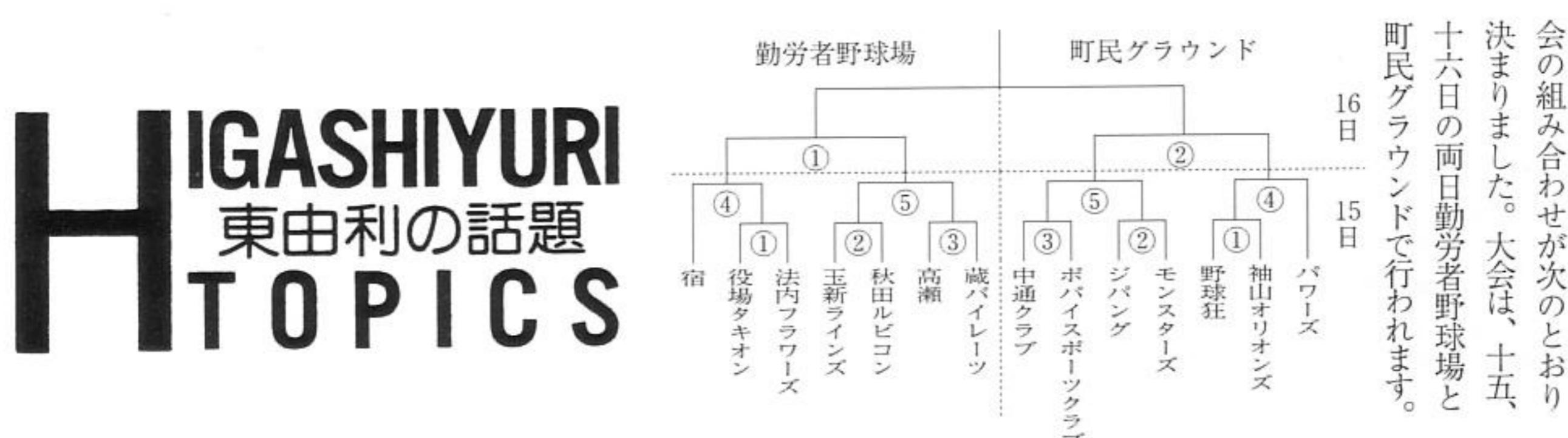
第三十七回町社会人野球大会の組み合わせが次のとおり決まりました。大会は、十五、十六日の両日勤労者野球場と町民グラウンドで行われます。

16日 15日



▲20人が参加したゲートボール教室

社会人野球は15、16日



HIGASHIYURI
東由利の話題
TOPICS

町の宝もの

40

佐藤家の「すぎ」(葎沢)

写真は、葎沢の佐藤正一さんの自宅

前にある屋敷すぎです。樹高約二十メートル、目通りのまわりが三・二メートルあって、写真のよう枝分かれし、幹だけみると広葉樹のような珍しい形です。

地上から約二メートルの枝は道路の邪魔になることから切られていますが、切断面の直径は約三十センチ。年輪を数



えようとしましたが、あまり混んでいて数えられませんでした。現在九本の枝があります。

風や雷などで傷められていますが、長年の風雪に耐え、防風、防暑の役目をして佐藤家とともに生きてきた大きな証であり、景観上も優れています。樹齢約二百年と推定されています。

(文・畠山昭二)

業り
林だよ
林業白書

平成六年度の林業白書は、去る四月二十一日に国会に提出され公表されました。

報告は、森林文化の新たな展開を目指しての視点から森林・林業の流れが促えられています。これまで、人類は古くから森林や木材とかかわりながら生活しており、その結果、木材を持続的に生産できる管理制度や森林施業技術の確立、そして森林を保全する保安林制度の創設、復旧治山事業の実

「噛み上手」な子になあれ！

みどり保育園では年二回歯科検診を行っています。今年五月の検診結果は、

行っています。今年五月の検診結果は、むし歯の無い子、治療済みの子をあわせて十九名、治療を必要とするむし歯のある子が二十六名でした。むし歯のある子には園独自の「治療カード」を渡し、治療終了後にカードを返してもらつていますが、この二ヶ月間に既に治療を終え園に返されたカードは十四枚にものぼっています。それだけお母さんの方のむし歯に対する意識が高まり、小さいむし歯のうちに治療してしまおうという姿勢がうかがえ嬉しく思います。

歯医者さん、保健婦さん等のおかげで、近年はむし歯の本数が着実に減っている事を感じますが、逆にここ数年で気になるの

子供たちの歯みがき指導強化 ブラッシング指導を徹底



▲真剣に歯みがきをする子供たち

町では、子供たちの虫歯予防の一環として今年度から小学校にブラッシング指導を取り入れました。

町、教育委員会、学校の養護教諭などで組織されて

のけんこう

いる歯科保健実務担当者会議(小松順之助会長)の中で、

歯科健診結果から小学校高学年に歯肉炎の子供が多いことが指摘され、これを受けて町では、これまでみどり保育園と八塩小で行われていたブラッシング指導を町内の保育園、小学校全体に拡大したものです。ブラッシング指導は歯科衛生士の協力のもと、赤い染め出し液を使って磨き方を個別に指導するもので、このほかに学校では、お菓子を使った噛み方の実験や飲み物と虫歯の関係を学習するなど、さまざまな角度から虫歯予防の学習に取り組んでいます。

町では「文化祭などを利用して、一般の方にも正しい磨き方をPRしたい」としています。

は「噛まずにのみこむ」「噛めずに吐き出す」「いつまでも口に含む」といったタイプの、噛むことが下手な子がいることです。

由利地区代表の高瀬小

惜しくも 初戦で涙



▲3回裏、相手のパスボールで伊東哲也君がホームイン



▲今村監督から指示を受ける高瀬ナイン

1回戦

(15時22分・湖岸球場)

	1	2	3	4	5	6	計
高瀬	0	0	2	0	0	1	3
八橋	1	0	4	1	1	3×	10

(6回コールドゲーム)

- △三塁打=工藤邦彦(高瀬)、江戸川(八橋)
 △二塁打=長沼淳(高瀬)、一関、小田嶌(八橋)
 △盗塁=高瀬2、八橋14 △失策=高瀬2、八橋3
 △試合時間=1時間25分

精一杯の投球をする阿部康浩君



△二塁大輔君の豪快なバッティング



全県大会出場メンバー表

高瀬小学校(2年連続2回目出場)

背番	位 監 コーチ	置 督 チ	氏 今村 長沼 遠藤 阿部 長阿部 伊東 小野	名 聰 久利 洋浩 淳 大哲 也 大輔 洋	学年
1					6
2					6
3					6
4					6
5					6
10					6
7					6
8					5
9					6
6					6
11					6
12					6
13					5
14					5
15					5
16					5
17					5
18					5
19					5
20					5

第15回全日本学童軟式野球秋田県大会
が七月一日、天王町で行われ、由利地区代表として出場した高瀬小は、熱戦を展開したもののが惜しくも敗れ、初戦を飾ることはできませんでした。

二年連続出場を果たした同小は、開会式直後の第一試合、湖岸球場で秋田地区代表の八橋小と対戦。一点先取されて迎えた三

回表、一死から八番工藤邦彦君がライトオーバーの三塁打を放ち、九番畠山正幸君のスクイズで同点。畠山君の打球を処理したピッチャーの送球が一塁悪送球となり出塁し、一番伊東哲也君の四球、ワイルドピッチなどで二、三塁とした後、一番小野大輔君へのサインは再びスクイズ。相手バッテリーから見破られ二死三塁となつたものの、パ



▲約150人が応援

スボールで伊東君がホームインし逆転に成功しました。しかし、八橋小は三回に四点、四、五回に一点ずつを加点、高瀬小が六回表に三番長沼淳君の一塁打などで一点を返したもの、その裏に三点を奪われゲームセット。町内外から駆けつけた百五十人余りの応援団の声援もむなしく、初戦で涙をのみました。

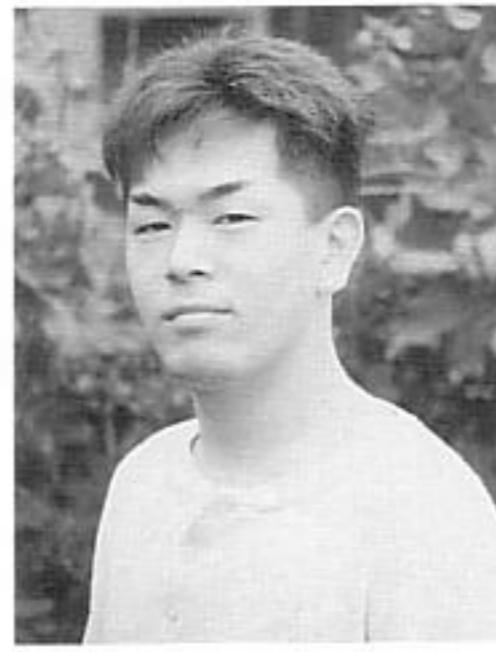


わ☆
が家
アド・トル☆

「双子でも性格は全然違います。夏実（長女）はおつとりします。夏歩（二女）は、やんちゃらをするときは二人の共同作業なので見ていても大変。忙しい毎日です」とお母さんの邦子さん。

宿・小野 夏実ちゃん（写真右）
（H6・6・24日生まれ）
お父さん・智行さん
お母さん・邦子さん

佐藤辰夫さん
(下小屋・19歳)



秋田ルビコン(株)勤務
血液型・A型

ソラノシテ

★ステキな写真盾が当たる★

広報クイズ

どんどん応募してね

問 英語指導助手のアレン先生が七月に帰国しましたが、先生の出身国は次のうちどこですか？

- ①カナダ②アメリカ③イギリス
(ヒントは先月号にあり)

▼官製はがきに答え、応募者の住所・氏名・年齢・身近な話題など、なんでも結構ですので、書いてお出しください。▼宛先／東由利町老方 東由利町役場広報係宛▼締切／8月15日（当日消印有効）▼正解者の中から抽選で5人の方に写真盾をプレゼント。

▼先月の正解は③500円でした。応募してくれた4人が正解でしたので、写真盾をプレゼントします。△大庭秀樹さん（大琴）△小笠原慶蔵さん（横渡）△高橋誠子さん（本荘市）△櫛野寿々子さん（下小路）。応募ありがとうございました。

四人兄弟の末っ子として生まれた辰夫さん。姉さん一人は、自宅から通勤しているものの兄さんは横須賀市にいることから農作業が忙しいときは貴重な労働力として頑張っています。

自然がいっぱいです。自然がいつぱいで緑に囲まれたこの町は住みやすくて大好きな町。人がごみごみしている都会は自分に合わない。将来もこの町で暮らしたい」と話す彼。休みの日は、

会話を求めて「島の斎藤スタンド」へ。「いろいろな人と話ができるスタンドはとても大好き。気分転換にもなるし」と辰夫さん。このほかに横手市や本荘市などの近隣市町村へのドライブやパチンコで楽しんでいます。

そんな彼が今一番したいことが魚釣り。子供のころから暇があれば近くの川で魚釣りを楽しんでいましたが、ここ二年程は仕事が忙しくてなかなか出掛けられませんでした。「この辺の川は、子供のころと同じくされながら大きな魚を釣ってみたい」と話しています。

「人の陰口を言わないように心掛け、いろいろな人と交流してみたい」と話す好青年の辰夫さんでした。

次は、同級生で秋田ルビコン勤務の鈴木紀貴くんへリレーします。

東由利の文芸

せせらぎ句会（西山堤吟行句）



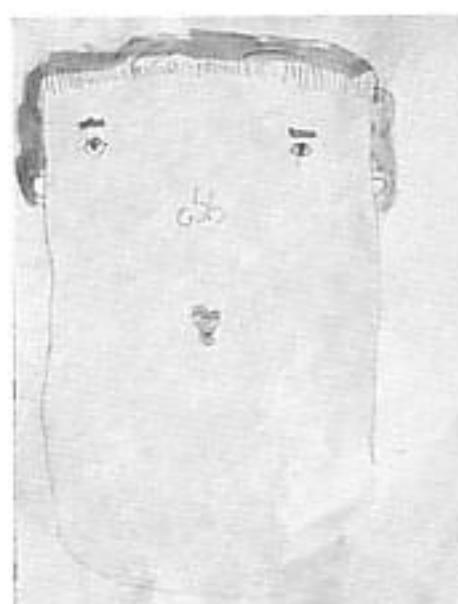
白き峰眺めて一人小豆蒔く
田帰りの明日を励ます夕蛙
曇天の重さ支えて山法師
サンゲラス緋鯉は餌を見失う
水草の揺れ夏めきぬ沼の色
梅雨空にうとましき世のありにけり
廃屋の生垣ここに青嵐
車椅子膝から貰う初夏の風
夏帽子無口連れ立つ太鼓橋

阿部 俊子（横渡）
佐藤 正義（湯出野）
大庭 喜右工門（舟木）
阿部 俊子（横渡）
嵯峨 義之（中通）
小松 順之助（中通）
小松 女沙（下小路）
阿部 澄子（藏）
小野 石蕗子（上里）
阿部 澄子（藏）
白き峰眺めて一人小豆蒔く
田帰りの明日を励ます夕蛙
曇天の重さ支えて山法師
サンゲラス緋鯉は餌を見失う
水草の揺れ夏めきぬ沼の色
梅雨空にうとましき世のありにけり
廃屋の生垣ここに青嵐
車椅子膝から貰う初夏の風
夏帽子無口連れ立つ太鼓橋

夏の蝶百花の蜜に口づけず
学舎の道に夏蝶沼しずか
鍬の手をしばし休めて山法師
名も知らぬ花に憩えり夏の蝶
青苔の庭園尽きず太鼓橋
風渡る沼に片瀬の半夏生
庭清水月もくみ込むまげわっぱ
金雀枝の少女の如き花の紅
太鼓橋松かけ写る沼涼し
青葉風西山園の大堤
落ち水の渦に逆らう水すまし

小野 貞子（藏新田）
遠藤トミ子（小倉）
阿部 澄子（藏）
小笠原トミ（藏新田）
小笠原亮子（藏新田）
嶽石 レイ（五海保）
工藤 武雄（山崎）
菊地 常作（湯出野）
小松 忠正（下通）
小野 石蕗子（上里）
阿部 ナミ（藏）
高橋ヒデ子（横渡）

みんな集まれ！タウン



たかはし
みほちゃん
(松柴)

みどり保育園



よこやま
さおりちゃん
(泡ノ瀬)



ぼくの絵 わたしの絵



だけいし
あつこちゃん
(五海保)



さとう
としゅきくん
(石高)



よこやま
はるきくん
(泡ノ瀬)



ともだちのかお

八塩と高瀬の自然に学ぶ



▲町の推進会議には約20人が出席

本町は今年度、文部省の環境教育推進モデル市町村（全国で八市町村）に指定され、これを受けて町内各小学校と中学校を実践協力校と位置づけ、ここを中心に関係団体や地域、家庭を

から選任された委員が出席して開かれ「八塩と高瀬の自然に学ぶ子供たち」をテーマに町と学校単位の活動内容が話し合われました。

今後広報では、これら環境教育活動を紹介し、家庭の中から環境のあるべき姿を語り合い実践できるよう話題提供を行うことにしています。

本町が
環境の
モデル町に

私が高校に入ってバレーボールを始めたのは、先生に誘われたというのもあるけれど、直接は、中学校の時からずっとバレーボルをしてきたので、なんとなく離れられなくなってしまったからです。

そう思って始めたバレーボルの練習はまず基本から入りました。

今は、人数が足りないので試合もできませんが、来年は部員を増やして、ぜひ大会に出場したいと思っています。

私が高校に入学し、バレーボールを始めてから四ヶ月近くが過ぎようとしています。今の部員は、一年生だけ四人という少ない人数ですが、みんな一生懸命に練習に励んでいます。

特に今は、スパイクやサーブレードに力を入れています。しかし、これから力を入れていきたいと思っているのは、やはり基本を完璧にすることです。そして、みんなでいい点や悪い点を言い合って、互いに高めあっていけたらいいと思います。

下郷分校1年 鈴木 美沙さん

町では推進会議設置

結んだ環境学習と実践を展開することとなりました。

町の環境教育推進会議は七月十二日、県教育委員会、町、町

教育委員会、実践協力校担当者と町河川愛護協会ほか関係団体

から選任された委員が出席して

開かれ「八塩と高瀬の自然に学ぶ子供たち」をテーマに町と学校単位の活動内容が話し合われました。

今後広報では、これら環境教育活動を紹介し、家庭の中から環境のあるべき姿を語り合い実践できるよう話題提供を行うことにしています。

特に今は、スパイクやサーブレードに力を入れています。しかし、これから力を入れていきたいと思っているのは、やはり基本を完璧にすることです。そして、みんなでいい点や悪い点を言い合って、互いに高めあっていけたらいいと思います。

下郷分校1年 鈴木 美沙さん

私が高校に入学し、バレーボールを始めてから四ヶ月近くが過ぎようとしています。今の部員は、一年生だけ四人という少ない人数ですが、みんな一生懸命に練習に励んでいます。

特に今は、スパイクやサーブレードに力を入れています。しかし、これから力を入れていきたいと思っているのは、やはり基本を完璧にすることです。そして、みんなでいい点や悪い点を言い合って、互いに高めあっていけたらいいと思います。

下郷分校1年 鈴木 美沙さん

私が高校に入学し、バレーボールを始めてから四ヶ月近くが過ぎようとしています。今の部員は、一年生だけ四人という少ない人数ですが、みんな一生懸命に練習に励んでいます。

特に今は、スパイクやサーブレードに力を入れています。しかし、これから力を入れていきたいと思っているのは、やはり基本を完璧にすることです。そして、みんなでいい点や悪い点を言い合って、互いに高めあっていけたらいいと思います。

下郷分校1年 鈴木 美沙さん

私が高校に入学し、バレーボールを始めてから四ヶ月近くが過ぎようとしています。今の部員は、一年生だけ四人という少ない人数ですが、みんな一生懸命に練習に励んでいます。

特に今は、スパイクやサーブレードに力を入れています。しかし、これから力を入れていきたいと思っているのは、やはり基本を完璧にすることです。そして、みんなでいい点や悪い点を言い合って、互いに高めあっていけたらいいと思います。

下郷分校1年 鈴木 美沙さん



イワカガミ (イワウメ科)

文・写真 小松忠正

北海道南部から九州、四国までの、比較的高い山の広葉樹林内の半日陰地帯に主として見られる宿根草で、本町にも見られます。山野草爱好者?によって乱獲され、量はめっきり少なくなっています。岩の隙き間から針葉樹林にも見られることがあります。房のよう分かれた紅い花、鏡のように光を反射する丸い厚い緑の葉、山の中でこの花と出会うと、胸がドキドキする興奮を覚えます。花の白いヒメイワカガミは中部南部の亜高山地帯に見られるといわれます。

東由利 郷土の野草

No.126

阿部	高橋	菊池	島山	畠山	長谷山	畠山	高橋	嶽石	岩畠	大坂	・ご結婚おめでとう
小松	長谷山	クニエさん	佐藤	佐藤	畠山	島山	島山	岩畠	島山	・ごめい福をお祈りいたします	アソエタメディナ・エヴェリンさん
クニエさん	モトさん	高橋	徳一さん	松治さん	島山	畠山	島山	岩畠	島山	幸一さん	館合新田
明さん	仁	横下通	拓	武義	八日町	横渡	夫	横下通	八日町	・	
87	83	63	88	83	79	87	セツ	セツ	宇戸坂	・	



八塩山の鳥居長根登山道から
の眺め。中ほどに見えるのが八
塩ダムです。
(撮影・商工観光担当)

戸籍の窓口

(6/21～7/20届出)

カラースナップ

ほつと ひとり



七月に、ある講演会に出席する機会があり、その席上で某先生が、「地域を活性化するには、まず自分を変えること」、「秋田県人は頑張っている人の足引っ張りが得意。応援してあげよう」という気持ちがないと秋田はよくならない」と講演。「そうかな」と思いつつも「そうかもな」となどと考えながら聞いていました。「自分を変える」とはどういうことなのか。何事もやる気を持って取り組むことなのか。自分はどうなのかなど、頭の中がパニック状態。難しいことはよくわかりませんが、「何事にも精一杯頑張ろう」、これが私の結論。みなさんはどう思いましたか。

8月→データ東由利

（6/1～6/30）

人口 () は前月比

- 男.....2,681人 (△3)
- 女.....2,818人 (3)
- 計.....5,499人 (-)
- 世帯数.....1,411戸 (-)

() は1月からの累計

- 出生…2人(15) •死亡…2人(28)
- 転入…3人(46) •転出…3人(61)

- 火災出動.....0件(0)
- 救急出動.....12件(66)
- 交通事故.....1件(10)
 - 死亡.....0人(1)
 - 傷者.....1人(11)
- 飲酒運転.....0人(1)
- 酒気帯び.....0人(0)

カレンダー 8月の行事

1	町長選挙告示日
1	ことぶき大学
4	八塩七夕(八塩小)
5	航空防除(雨天順延)
5	少年少女サークル
6	町長選挙投票日
10～11	出稼健診
15	町成人式(有鄰館)
15～16	第37回社会野球大会
22	町戦没者追悼式(10時・有鄰館)
27	市民スポーツ祭(トラック&フィールド)

町社会福祉協議会に、佐藤謙一さん(宇戸坂出身、秋田市在住)、畠山力男さん(新町)、高橋武義さん(横渡)から芳志が届けられました。ありがとうございました。

まごころ